

外環の概要

外環(東京外かく環状道路)は、都心から約15kmのエリアを結ぶ計画延長約85kmの高規格幹線道路です。都心から延びる放射道路(関越道、東北道、常磐道、東関東道等)を相互に連絡し、都心方向への交通集中を抑制させるとともに、都心への通過交通を迂回させることにより、首都圏の渋滞緩和や交通の円滑化に大きく寄与します。高速道路(東京外環自動車道)と国道298号(国道254号バイパス～国道357号東京湾岸道路)で構成されています。

最初の事業化

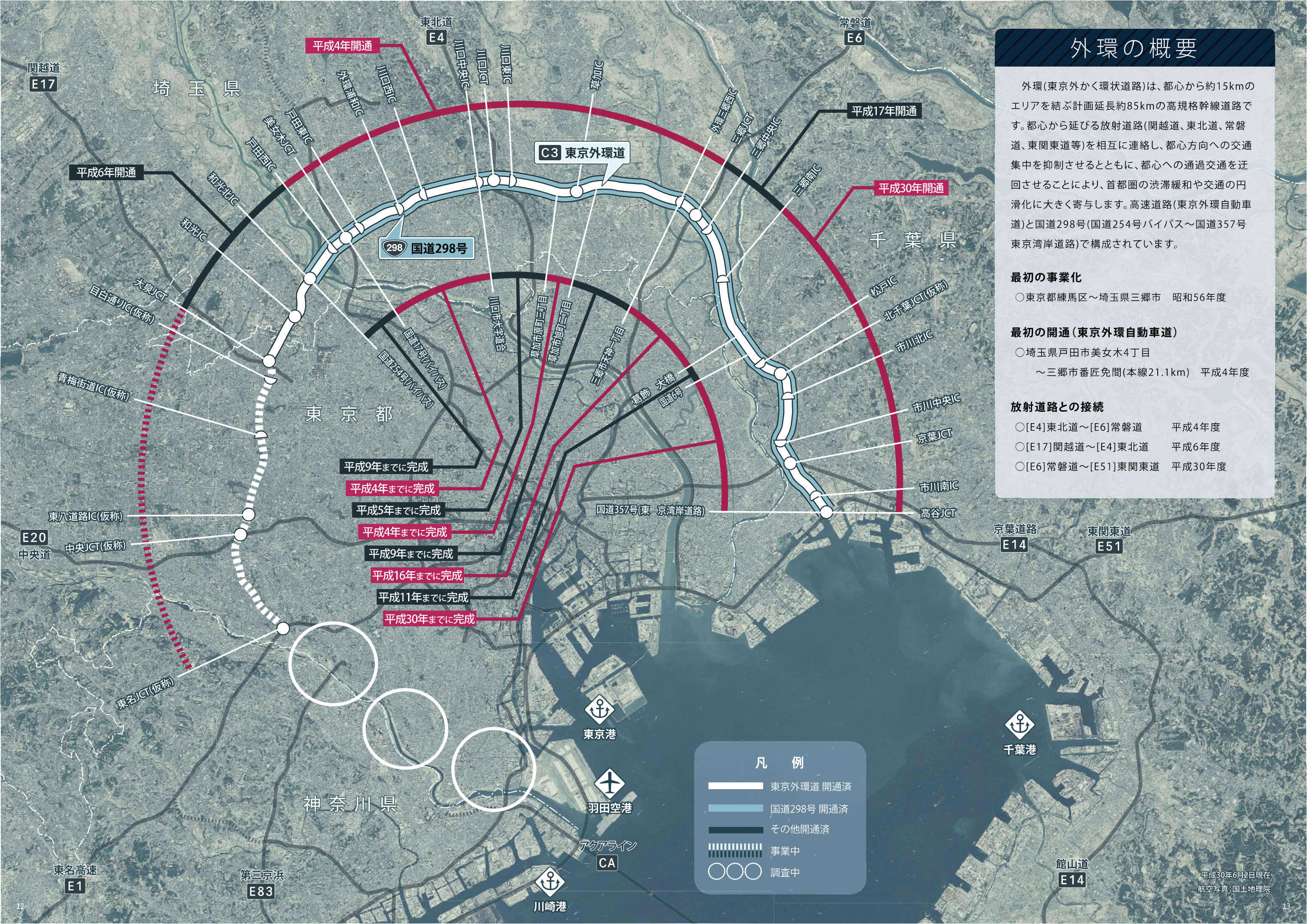
- 東京都練馬区～埼玉県三郷市 昭和56年度

最初の開通(東京外環自動車道)

- 埼玉県戸田市美女木4丁目
～三郷市番匠免間(本線21.1km) 平成4年度

放射道路との接続

- [E4]東北道～[E6]常磐道 平成4年度
- [E17]関越道～[E4]東北道 平成6年度
- [E6]常磐道～[E51]東関東道 平成30年度



東京都

埼玉県

千葉県

神奈川県

凡例

- 東京外環道 開通済
- 国道298号 開通済
- その他開通済
- ▨ 事業中
- ○ ○ 調査中

平成30年6月2日現在
航空写真:国土地理院